

★『プロが丁寧に基礎とコツを教える 手作り石けんの本です。』正誤表

本書の以下のページにおきまして、誤りがありました。ここに訂正致しますとともに、ご迷惑をおかけしました読者の皆様、ならびに関係者各位に謹んでお詫び申し上げます。

- p.7 __2行目
【誤】アボガド→【正】アボカド
- p.13 __上から2つ目の「point」内 7行目
【誤】保湿→【正】保温
- p.16 __上から1つ目の「point」内 7行目
【誤】詳しくは油脂の種類ページ (p.35) →【正】詳しくは油脂の種類ページ (p.52)
- p.16 __上から2つ目の「point」内 4行目
【誤】…酸化を促進する要因と→…けん化を邪魔する要因と
- p.22 __ページ下の※について
現在、協会のオイルミックスの容器は耐熱仕様ではなく、電子レンジに対応しておりません。
- p.24 __本文2列目1行目及び9行目
【誤】アルカリ性の金属→【正】アルカリ金属
- p.25 __本文2列目3行目
【誤】脂肪ナトリウム→【正】脂肪酸ナトリウム
- p.31 __本文1列目6行目
【誤】出来上がった石けんを塩水に……→【正】出来上がった石けん膠(にかわ)を塩水に……
- p.32 __本文1列目12行目
【誤】温度によっても違う……→【正】温度によっても違う……
- p.32 __下図の題名
【誤】石けんとは →【正】油脂とは
- p.36 __表「飽和脂肪酸」の「油」の上から5番目の欄内
【誤】シアバター、ココアバター→【正】シア脂、ココア脂
- p.37 __1行目
【誤】オイル(油脂)にアルカリ水酸化ナトリウム(苛性ソーダ)や……
→【正】オイル(油脂)に水酸化ナトリウム(苛性ソーダ)水溶液や……
- p.37 __図「反応式」内
【誤】グリセリン(3mol)+塩(3mol)→グリセリン(1mol)+カリウム塩(3mol)
- p.38 __本文2列目1行目
【誤】水酸化ナトリウム(苛性カリ)→【正】水酸化カリウム(苛性カリ)
- p.39 __1つ目の表「水酸化ナトリウム(苛性ソーダ)換算値(g)」の欄内
オリーブオイル 【誤】0,136→【正】136
パーム核油 【誤】0,178→【正】178
パーム油 【誤】0,145→【正】145
- p.48 __手順6の題名
【誤】油脂に苛性ソーダを入れて……→【正】油脂に苛性ソーダ水溶液を入れて……
- p.50 __ページ下の※について
現在、協会のオイルミックスの容器は耐熱仕様ではなく、電子レンジに対応しておりません。
- p.58 __「マカデミアナッツ油について」2行目
【誤】パルミトオレイン酸→パルミトレイン酸
- p.60 __囲み記事の題名
【誤】アボガド油について→【正】アボカド油について
- p.62 __1の見出しの1行目、2行目
【誤】全部図って→【正】全部計って
【誤】いれてから暖める→【正】いれてから温める
- p.64 __アボガドとシア脂で作る石けんの写真
【誤】オレンジ色の石けん写真になっている→【正】薄緑色の石けんになります
- p.65 __「point」内 1行目
【誤】真っ白なの泡立ち→【正】真っ白な泡立ち
- p.67 __「point」内 3行目を差し替え
【正】レシピのパーム油は全体の30%、レッドパーム油は10%になっています。

- p.71 __表「オレンジ」の「その他」の欄内
【誤】オレンジ、カルダモン、ラベンダー→【正】オレンジ油、カルダモン油、ラベンダー油
- p.71 __表「黒色」の「その他」の欄内
【誤】ヒノキ、パイン→【正】ヒノキ油、パイン油
- p.73 __表「イエロー」の「その他」の欄内
【誤】シア油→【正】シア脂
- p.75 __表「クリーム色・ハチミツ」の「その他」の欄内
【誤】はちみつ油→【正】ハチミツ
- p.78 __表「白色・ミリスチン酸」の「その他」の欄内
【誤】プチグレン→【正】プチグレン油
- p.79 __表「白色・モノイ」の「point」内(下線部を挿入)
【誤】プルメリアの香りを活かすため使用しません。
→【正】プルメリアの香りを活かすため精油は使用しません。
【誤】杏仁粉は1%を目安にして
→【正】杏仁粉を入れても良い香りになります。その場合は1%を目安にして
- p.85 __本文2列目下から2行目
【誤】サンダルやパチヨリは→【正】サンダルウッドやパチヨリは
- p.88 __本文2列目1行目
【誤】石けんの香りとして使うときも1%以下がよいと思います→削除
- p.104 __ラベンダーの解説文中(2箇所)
【誤】angstifolia→【正】angustifolia
- p.110 __ゴマ油の「分類」
【誤】植物油(不乾性油)→【正】植物油(半乾性油)
- p.110 __小麦胚芽油の「におい」
【誤】独末精製のもの→【正】未精製のもの
- p.113 __ホホバ油の解説文 4行目
【誤】脂肪酸組織→【正】トリグリセリド構造
- p.113 __ホホバ油の「主要成分」
【誤】ステアリン酸→【正】エイコセン酸
- p.116 __カレンデュラオイル説明文2行目
【誤】浸出油→【正】浸出油
- p.117 __「アルコール」説明文 全文差し替え
【正】精油はアルコールに溶けます。精油を水で希釈するときに、まずアルコールで溶かしておく、水とも比較よく混ざります。アルコール度数の高い無色無臭のウォッカなどの酒類や、消毒用のエタノールも利用できますが、アロマテラピー用としては無水エタノールが適します。無水エタノールは、精油が付着した容器やガラス棒、放香器などの洗浄にも使います。間違って工業用のメチルアルコール(メタノール)を使わないように注意してください。
- p.117 __「水」説明文 全文差し替え
【正】水については、2章(P.41)でくわしく説明がありますが、水は石けん作りにとって欠くことのできない材料です。石けん作りにもっとも適している水は何も含まない「精製水」または「純水」です。ボトルで販売されている水や水道水にはミネラルや塩素が含まれていて、石けんの化学反応に影響を与える恐れがあります。ミネラルの濃度の高いものを硬水、低いものを軟水といいますが、日本の水道水の大部分は軟水ですし、また最近は浄水技術の発達から余分な塩素も最小限に抑えられていますから、実際上は水道水でも大きな問題はないでしょう。大切なことは、「水はなんでも良い」というような安易な理解ではなく、水の硬度や塩素も石けんの化学反応にかかわっているということを意識して用いるということです。そのうえで、お家で使っている水道水に問題がなければ、使ってもよいと自ら判断しましょう。
- p.120 __左下 残った石けんの使用法下から3行目
【誤】Q pHを計り方を……→【正】Q pHの計り方を……
- p.127 __本文 1列目9行目
【誤】リバッジ→【正】リバッチ
- p.131 __「ハンドメイド石けんマイスター協会とは？」内 下から4行目
【補足】講習会の参加につきまして、現在、受講料と認定料を事前にお振り込みいただいております。
- 書籍全体 レシピ表タイトル
【誤】Resipi→【正】Recipe